

### 平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	塩の道コミュニティエリア再生事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 縁家 0261-22-4018
事業区分	③教育、文化の振興に関する事業 ⑥ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	5,513,478円 (うち支援金:3,375,000円)

#### 事業内容

存続の危機に立たされていた「塩の道博物館」を「塩の道ちょうじや」として再生し、市民が集い、文化を育みながら交流できる施設づくりを目指した。

本年度は、母屋内にコミュニティスペースを整備し食をテーマにした講座を10回行った。

講座内容は、「七夕まんじゅうを作ろう」や、「大町のおいしい水で日本茶を淹れよう」など、地元につながる郷土食や大町の資源を生かした内容にし、講師も地元の方に依頼するなど、市民が地域や世代を超えて交流できる施設づくりを行った。



※1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

#### 事業効果

「食の講座」については、1年間で10回開催し、102名の方々が参加した。

入館者数は、平成24年度が7,288人のところ、平成25年度は8,182人が来館し、前年比11.2%、89.4名の増加となった。

#### 【目標・ねらい】

- 郷土食の継承
- 地域文化の継承
- 観光振興

※2 自己評価 (事業効果) 【 B 】

#### 今後の取り組み

今後も、大町の貴重な歴史的建造物を後世に継承させていくため、様々な文化をテーマにした講座を定期的で開催し、地域や世代を超えた交流の場を創り、市民の生きがいの場としても活用させていく。また、講座は大町を訪れる観光客も参加して頂けるようなメニューを作り、中心市街地の観光の拠点としても活用させていく。

さらに、建物の価値を多くの方々に知って頂く為にも、登録有形文化財の取得を目指す。

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。

※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある